

令和6年度(2024年度)第8回 卒業証書授与式



来賓席側より



校長式辞



卒業証書授与



卒業生入場



保護者席側より



7名の卒業生

送辞



卒業生退場



卒業生退場



卒業生あいさつ



保護者代表あいさつ



卒業生入場

令和七年(二〇二五年)三月一日(土)午後、本校第一体育館において卒業式が執り行われました。今年は七名の生徒が卒業しました。式後の行事では、卒業生があいさつをして、各々の思いを語っていました。



岱志高校
定時制だより



令和6年度
第5号
編集・発行
熊本県立
岱志高等学校
定時制課程

地域の未来を担う人材に

校長 寺田 憲司



ご卒業おめでとうございます。
みなさんが定時制高校で過ごした日々は、決して平坦な道ではありませんでしたからかもしれません。「働きながら学ぶ」ことの大変さは、経験したみなさんが一番実感していることだと思います。登校する姿を見る中で、仕事で日に焼けた姿、疲れている姿、仕事が遅くなつても頑張って登校する姿、そんなみなさんのひたむきな姿を目にしていつも胸が熱くなりました。学業と仕事を両立させるることは、強い意志と努力なしにはできないことです。この経験は、これから的人生において大きな力となるでしょう。
卒業は新たなスタートです。みなさんがこれから的人生を自分らしく、充実したものにしていくよう、心から応援しています。これまで支えてくださった家族や先生方への感謝を忘れず、みなさんのこれからのご活躍を、心よりお祈り申し上げます。



定時制教頭 古川 小百合



卒業生のみなさん、卒業おめでとう。四年間、学業はもちろんのこと様々な場面で定時制を盛り上げ、本当によく頑張りました。生徒諸君一人一人いろんな思いをもつて、この岱志高校定時制に入学してくれたことだと思います。この四年間でその思いは叶えられたでしょうか。私が見る限り、みんなとても大きく成長しましたと確信しています。毎日登校して、勉学に励む。周りのみんなを思いやり、気遣い、コミュニケーションをとる。そして、みんながよりよい充実した学校生活が送れるようにお互いに協力しました。ながら盛り上げ、学校を活気づけてくれました。それも働きながら・・・。働きながら学ぶという二足のわらじをしつかりとやり遂げました。この取組はきっと後輩たちに継承していくことだと思います。

さて、これから新たなステージへと進みます。この四年間を頑張ることができた自分に自信と誇りを持ち、常にいろんなことにチャレンジしてください。君たちの更なる成長が楽しみです。働くことは自分が社会の一員であること、地域貢献すること、そして、地域の未来を担うことにつながります。そんな社会人になつて活躍してくれるることを願っています。



四年次副担任 甲斐 悠雄

ご卒業おめでとうございます。この四年間様々なことがあつたなか、よくここまで頑張りましたね。卒業後も同じで、きっと多くの困難があることでしょう。ただ、忘れてはいけないのが、どんなにきついことでも必ず終わりが来るということです。映画でもハッピーエンドの前には主人公に大ピンチが訪れます。困難の先に必ず幸せな時が訪れると信じて、何が起ころうが力強く生きて下さい。



年度当初、四年生の七人がなかなか教室に全員そろわなくて、みんなと一緒に卒業できるのかと心配していました。よかったです。今となつては、なんだかんだもいい思い出でました。私は、やはり卒業生の皆さんの人柄に惚るところが大きかったと思います。ありがとうございます。そして、ご卒業おめでとうございます。

※「なんだかんだ」…そこまで深刻なことではありません。

四年次担任 野本 憲作

